

第3次御前崎市総合計画 基本計画(素案)
意見書とりまとめ一覧表

資料2

NO	対象ページ (担当課)	意見者 ※敬称略	箇所又は内容	意 見	回 答
1	全体的 (企画政策課)	第5回 審議会	実現可能な範囲に内容が集約されている印象	10年後の御前崎市の将来像の実現に向けて、大きな変化や飛躍が生まれにくいのではないかと懸念しております。そのため、もう少しドラステックな施策や、挑戦的な視点を取り入れていくことも必要ではないかと感じました。	分野別計画では、本市にあった実現性のある計画とし、重点プロジェクトとして「挑戦」と「共創」といった視点をとり入れた計画としております。
2	全体的 (企画政策課)	第5回 審議会	PDCA	今回の第3次総合計画においては、第1次・第2次の反省や実態を踏まえたうえで、CheckやActionの部分、つまり検証や改善の体制を新たに構築していくという考えでよろしいでしょうか？	実施計画と合わせて施策評価シートを作成し、検証や改善の体制を構築していくよう考えております。
3	全体的 (企画政策課)	第5回 審議会	全体として少し“でこぼこ”があるように感じる	各課それぞれに想いや熱意があり、それが言葉として表れている。計画全体としてのバランスを取っていく必要があると感じる。	事務局で全体のバランスを取っていくように調整します。 また、用語集等の添付により分かりやすい総合計画となるよう配慮します。
4	P20.21 (企画政策課)	山田	施策の表現	体系的性の観点から眺めたときに、政策が「〇〇の実現」で統一されている一方、施策が統一的に記載されていないことは気になる。前回会議では、その種の発言が市民委員から寄せられ、それに対して議員が制するようなコメントを発した。たしかに、議員のコメントもごもっともであるが、市民委員の思いも理解できる。たとえば、「充実」「強化」「充実と強化」といった表現に込められた含意の違いを説明するだけでも市民に優しい計画になるのではないだろうか。	用語集等の説明資料を添付し市民に分かりやすく優しい総合計画となるよう配慮します。
5	全体的 (企画政策課)	渡辺	用語解説	全体を通して ・高齢者にも分かりやすい言葉で表現してほしいです。 ・聞きなれない言葉には注釈が欲しいと思います(調べるのが大変)	用語集等の添付により分かりやすい総合計画となるよう配慮します。
6	全体的 (企画政策課)	長谷川	全般的に横文字や専門用語が多く市民には理解しづらいのでは	P5_アントレプレナー教育、P9_リノベーションまちづくり計画、P9 ICT、P9_オンデマンド交通、P12_GX(グリーントランスフォーメーション)、P13_シティプロモーション、P17_ロジックツリー、P35_ストックマネジメント計画、P39_リノベーションまちづくり計画、P73スクラムゼミナール	用語集等の添付により分かりやすい総合計画となるよう配慮します。
7	全体的 (企画政策課)	落合	英字やカタカナ文字は市民の高齢者だけでなく、小中学生でも分かるように巻末で良いので説明をつけてほしい。	P4_ワーケーション、P5_アントレプレナー教育、P8_AIオンデマンド交通、P9_リノベーション、P9_モビリティサービス、P13_GX・DX、P14_ブルーカーボン、P14_グリーンカーボン、P17_ロジックツリー、P20_ゼロカーボン、P31_ストックマネジメント、P80_シビックプライド	用語集等の添付により分かりやすい総合計画となるよう配慮します。
8	P5 (企画政策課)	渡辺	取り組み1 事業2 アントレプレナー教育の実施	アントレプレナーという言葉がわかりません 欄外に注釈を入れて欲しいです	用語集等の添付により分かりやすい総合計画となるよう配慮します。
9	P5 (企画政策課)	渡辺	取り組み2 事業4 ふるさと住民登録制度の活用による関係人口の拡大	「ふるさと住民登録制度」の言葉をみてすぐに理解できないと思います。 施策を見て「こういうことか」と思うのではないのでしょうか？注釈が欲しいです	用語集等の添付により分かりやすい総合計画となるよう配慮します。

10	P31 (企画政策課)	渡辺	用語解説	市民にわかりやすくするために、注釈が欲しい ゼロカーボンシティ、ブルーカーボンシティ、グリーンカーボンシティ、 ストックマネジメント実施計画 上記4つの言葉	用語集等の添付により分かりやすい総合計画となるよう配慮します。
11	P39 (企画政策課)	渡辺	用語解説	「リノベーションまちづくり」注釈が欲しい	用語集等の添付により分かりやすい総合計画となるよう配慮します。
12	P56 (企画政策課)	渡辺	まちづくりの指標②	「圏域単位」とは？欄外に注釈をつけて欲しい	用語集等の添付により分かりやすい総合計画となるよう配慮します。
13	P35 (企画政策課)	山田	脱字	二つ目の■、老朽化の「老」が脱字か。	老朽化に修正します。
14	P37 (企画政策課)	落合	誤字 まちづくりの指標②目標・ 数値の根拠・説明	尚齡者施設 → 高齢者施設	高齢者施設に修正します。
15	P54 (企画政策課)	渡辺	施策① 主な取り組み 1)	民生委員の正式名称は「民生委員児童委員」です。	民生委員児童委員に修正します。
16	P66 (企画政策課)	山田	脱字	5つめの・、「継続開催する」の「る」が脱字か。	継続開催するに修正します。
17	全体的 (企画政策課)	青山	重点プロジェクト取り組み	全体的に、取り組みとして挙げられている内容が、あまり代わり映えしていない印象を受けました。市の魅力度を上げ、人口流出を食い止めるためには、より革新的な取り組みや、先進的な取り組みに挑戦しても良いのではないのでしょうか。今の内容では、正直あまり期待が持てません。全国の市町村の成功事例の取り組みをまねすることでも良いと思いますので、御前崎の明るい未来のために、今一度、施策の取り組み内容をご検討いただきたいです。参考に、他の市町村での取り組み例を下に挙げさせていただきますので、一度ご検討いただければと思います。	重点プロジェクトについては、市民ワーキング会議や市長インタビューから取り組み内容を検討させていただいております。本市の状況にあった取り組みとなるよう検討していきたいと考えております。
18	全体的 (企画政策課)	青山	まちづくりの指標	事業1つ1つに対して、目標と推進度を確認する指標をより明確に記載したほうが良いと思います。 現状のままでは、具体的な目標の記載がない事業が多く感じました。 具体的な目標の記載や、推進度を確認する指標の記載がないと、どの程度その事業を実施しようとしているのか分からず、希望が持てません。防災・危機管理分野に関しては、目標がしっかり定められており、読み手にも内容が分かりやすく、とても良いと思います。他の分野においても目標を具体的に記載し、全体として内容の濃い基本計画書を目指していただきたいです。参考に、気になった箇所を下に挙げさせていただきます。	基本計画においては、政策に対する事業目標の設定をしております。個別の指標や進捗管理につきましては、別冊として実施計画書の作成を予定しています。

19	P3～15 (企画政策課)	第5回 審議会	第2章「重点プロジェクト」	「分野横断的に庁内が連携し」と記載されていますが、これは肌感覚ではあるものの、これまで繰り返し言われてきながら、なかなか実現できていない部分であると感じています。市役所の各担当課が実際にどのように連携していくのか、その具体的な仕組みや方法を、総合計画の中で明示していただく必要があるのではないかと思います。	「主な取組」の中に“重点”や“DX”といったキーワードを盛り込むことで、どの課が連携するのかが分かるよう表示します。
20	P5 (企画政策課)	落合	取組み2 ふるさと住民登録制度の活用	今回の計画で初めて取り入れるのですか？ 既に取り入れているのであれば現在何人いるのですか？	地方創生2.0の実現の取組みとして、今年度、国が発表した制度となります。 第2編基本構想 第2章将来都市像 1基本理念 誰もが挑戦できるまち みんなの挑戦によって築くまちとして今後、検討していきたいと考えています。
21	P6 (学校教育課)	青山	ひとを育てるプロジェクト 教育分野 取組み3 6-(1),(2)	ひとを育てるプロジェクトは、市の人口減少・人口流出問題に対し、重要なプロジェクトであると感じています。現在の事業に加え、公営塾の導入をご検討されてはいかがでしょうか？公営塾とは、官民が一体となり、自治体が運営する学校外での公的な学習支援の場であり、導入の目的は、子育て環境の充実、都市部の子どもたちとの教育格差の是正や、経済的事情を抱える子どもたちの学習機会の提供等です。全国の自治体の約1割が導入を開始しており、県内でも広まりつつあります。教育格差の要因は学校外での教育環境とも言われており、教育環境を求めている都市部への人口流出を食い止める手段としても注目されています。公営塾は学習支援だけでなく、地域の魅力や文化を生かした体験・探究活動、英語教育などさまざまです。教育分野政策(1),(2)の方向性とも一致しており、また、基本計画の事業の1つである英語教育や、御前崎クエスト事業、部活動の展開と関連して、ご検討されてはいかがでしょうか？御前崎クエスト事業については、すでに公営塾の位置づけようにも感じており、このような官民一体となったひとを育てる事業が増えるといいと思います。	地域が一体となって、学校教育に関わり、子供の成長に寄与していくことはとても大切なことです。本市でも地域人材や地域資源を活用して学校教育活動を充実させる取組を実践してまいりました。例えば、小学校の家庭科授業では、ミシンの扱い方を地域住民の方に指導していただいたり、学習支援員を各学校に配置し、授業の中で学びに困難さを抱えている児童生徒に寄り添った支援を行ったりしています。形は様々あれど、多くの大人が子供の成長に関わることができる体制をより強固なものにできるよう、今後も取り組んでまいります。
22	P6 (こども未来課)	渡辺	取組み4事業2 子育て環境整備地域で子どもを 育む社会 4ー(1)ー②ー1	地域における子育て支援の充実は難しいと思います。一時預かりの実践も場所を決めて実施すると思うし、子育て支援センターの充実が必要かと思います「地域」をどのように捉えれば良いのでしょうか？	ここでいう「地域」とは、単に地理的に近い範囲を指すのではなく、子どもや家庭を支える関係者のネットワーク全体を指します。具体的には、家庭、近隣住民、学校、園、行政など子どもの成長に関わるすべての主体を含みます。こうした多様な人々が互いに連携し、子どもを見守り育ちを支える場として地域と捉えます。
23	P9 (企画政策課)	渡辺	取組み2 事業2 関連施策も含めて	近隣市との連携となっていますが、まだ市内のオンデマンド交通がスタートしていないのにとても心配です。近隣市との話し合いは持たれているのでしょうか？計画のすり合わせはされているのでしょうか？	市域を跨る広域的幹線系統を維持する乗合バス事業はすでに、近隣市と連携した運行を実施しております。引き続き利便性が高まるよう近隣市と連携した運行を行います。また、御前崎市内線自主運行バスをAIオンデマンド交通により、令和7年10月から実証運行を行う予定となります。令和7年度は池新田、佐倉、比木、御前崎、白羽の5地区で実証運行を行い、令和8年度は市内全域をカバーした実証運行を予定しています。AIオンデマンド交通は御前崎市内の運行を予定しており、現段階では広域運行を行う予定はありません。
24	P10 (企画政策課) ※2課に跨っているため企画政策課で回答	青山	取組み4	まちをととのえるプロジェクトの「医療体制の確立」は大きな課題だと感じています。そのための重要な4つの事業のうち2つが健康レシピの開発と記載されており、レシピの開発がとても重要視されているように感じました。医療体制の確立のために、レシピの開発の他にもすべき事業があるように思います。	取組み4 地域や広域連携による医療体制の確立 について 事業1, 2について医療体制を、事業3, 4について健康増進を記載しています。医療体制の確立として事業内容の検討を行います。
25	P14 (商工観光課)	大澤富	取組み4 事業1の地域経済に寄与する地域商社機能の創設	私の立場上とても関係のある事と認識しておりますが、創設にあたってさらに具体的な考えはありますか。	第2編基本構想 第2章将来都市像 1基本理念 共に創る御前崎 市民、団体、事業者、関係人口、行政、広域連携など、様々な主体が共創するまちとして、今後、検討していきたいと考えています。
26	P20.21 (企画政策課)	第5回 審議会	施策体系図	「将来都市像」、「基本目標」、「政策」、「施策」と示されています。おそらく、この施策の下には「実施計画」が位置づけられることになるのではないかと認識しております。体系図に「実施計画」も含めた、より網羅的で全体像が見えるような整理を行うことは可能か？	実施計画まで記載した施策体系図を当日資料として配布するようにします。なお、実施計画の主な事業については、現在作成中となりますが、既存事業数としても336事業あり、すべてを記載することができないため、表題のみ記載させていただきます。

27	P20.21 (企画政策課)	第5回 審議会	現状の資料では時間軸が明示されていない	「政策」「施策」「実施計画」といった各階層について、それぞれの程度の期間を想定しているのかが示されていないため、単年度で終わるものなのか、複数年にわたる取組なのかが判断しづらい状況です。	別冊の実施計画を作成し、目標年次を見据えた総合計画となるよう考えております。
28	P23,31,39,49,61,69,79 (企画政策課)	策定委員会	「重点」「DX」の表示について	基本目標から主な取組みまでをまとめたページがある。「重点」「DX」の表示をバラバラに表示するより、まとめたページに表示した方が分かりやすい。	基本目標ごとまとめたページに記載し、分かりやすい総合計画となるよう配慮します。
29	P24 (危機管理課)	山田	基本目標1－政策1－施策1及び政策2について	静岡新聞の特集記事で、御前崎市において想定された広域避難が現実には難しいことが検証され報じられた。その点をふまえれば、やはり広域避難計画の見直しは明確に打ち出しておきたい。施策②はおそらくこの課題に対応したもので高く評価できる。また、施策①(4)はまさにDXの使いどころであり、たとえば避難所管理や誘導を(日常的な波や晴れの情報を含め)アプリでユーザーに親切な形で提供できれば「デジ田」の枠組みでも魅力的な取り組みと捉えられるであろう。	広域避難計画については、現状の計画で満足するのではなく、引き続き県や国、避難先市町村等と協力して計画の具体化や充実化を目指して協議を続けていきたいと考えております。 災害情報伝達体制のDX化につきましては、同報無線親局更新に併せて多層配信機能を導入、LINE、Yahoo!防災、緊急速報メール等へ情報を配信できる仕様へと更新を行いました。また、市公式防災アプリも新たに導入しました。今後も避難所におけるQRコード受付など新たなDX活用に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。
30	P24 (危機管理課)	青山	防災・危機管理分野 (1)－①	災害時の断水対策として、災害時協力井戸制度の導入をご検討されてはいかがでしょうか？牧之原市、静岡市、島田市、焼津市、磐田市、浜松市、伊東市など、県内でも導入市町村が増えております。本市は水源からも遠く、災害時の水道復旧が長期間になる恐れもあります。また、地区センターや公園等にも、防災井戸や太陽光発電等の設置を進めていただければと思います。	地震などの大規模災害が発生した場合、水道設備等が被災し、長期間断水する可能性があり、飲料水は耐震性貯水槽や、ペットボトルの水の備蓄等によって確保しておりますが、家庭で使う生活用水は使用量も多く不足する場合があります。昨年度「自然環境の保全に関する連携協定」を結んだ企業との連携事業において、地下水の保全活動の基礎調査として井戸や湧き水の把握、その一部の水質調査を行う予定です。 災害時協力井戸に関しては、登録した井戸情報についての広報手段やプライバシーの確保といった課題もありますが、災害時の水の確保は非常に大切であり、災害時協力井戸による水の確保については効果的なため、今後前向きに検討していきたいと思います。
31	P31 (社会教育課)	長谷川	基本目標2 政策1 施策1	自然環境の保全にウミガメの保護を加えないか？	P31は、市全体の自然環境について述べており、ウミガメの保護については、P69で述べております。市では、ウミガメを文化財の一つとして位置づけており、ウミガメの保護活動を行っております。P69 基本目標6 政策(4)-施策②-1)では「市民による文化財保護を支援します」と挙げており、P76ではこれまでの取組みと今後の課題を掲載しております。
32	P32 GX推進課	川口	《主な取組み》3) 海岸清掃活動を推進します。	同項目1)で『ブルーカーボン、グリーンカーボン』と記載されていること。関係するページ(14ページ)でも、『ブルーカーボン、グリーンカーボン』と記載されていることから、海だけでなく陸域の自然環境においても、取り組みをしていく必要があると感じます。 【海岸清掃活動を推進】だけでは、陸域の保全活動が抜け落ちています。広く、【自然環境保全活動の推進】等に記載を変更したほうが良いように感じます。	ご意見のとおり、陸域での保全活動についても推進すべき取組でありますので、「自然環境保全活動を推進します。」に修正します。
33	P34,35 (上下水道課)	青山	環境・市民生活分野 (2)－①	主な取り組みとして、生活排水処理を行うと記載がありますが、それを今後どのように良くしていきたいかを記載してほしいです。(水質を向上させるのか、普及率を上げるのか、処理効率を上げるのか、など)今の内容では、目標が分かりません。また、家庭での排水モラルの向上にむけての取組み等があっても良いのではないのでしょうか？	目標を記載します。併せて、広報紙等で生紙活排水モラルについての啓発活動を行います。

34	P35 (上下水道課)	山下	公営企業がとるべき原則である独立採算制の確保に向け	企業と行政がどのように協働事業をするのか？	水道事業、下水道事業は公営企業であるため、行政(一般会計)からの繰入金に依存しない独立採算制を確保する必要があります。
35	P36 (上下水道課)	山下	独立採算制の確保に向け	企業と行政がどのように協働事業をするのか？	
36	P35.36 (上下水道課)	第5回 審議会	「下水道使用料の改定を行います」「水道料金の改定を行います」	将来的な持続可能性を確保するための料金改定＝値上げを前提としているのだと思います。それによって健全化が進むのであれば望ましいことではありますが、単に「料金を改定します」と記載するのではなく、将来にわたって計画的に改善していく姿勢や背景を併せて示すことで、市民の理解がより得られやすくなるのではないかと感じました。	改定を適正化に改めます。また、料金改定の背景、必要性について記載します。
37	P42 (企画政策課)	第5回 審議会	基本目標3の表の中にある「多くの人が利用しやすい利便性の高い公共交通の構築」	御前崎市で暮らす中で本当に大きな課題だと実感しています。今回の計画においても、この部分をもっと力強く、そして夢のあるビジョンとして打ち出していきたいと強く感じています。	「AIオンデマンド交通」の導入を予定しております。これは、バスとタクシーの中間にあたるような交通手段で、複数人が乗車可能なタクシーのような車両を使い、市内全域をカバーする形の運行を想定しています。
38	P44 (維持管理課)	第5回 審議会	基本目標3「地域特性を活かし、心豊かに暮らせる持続可能なまち」の中に、「(3)災害に強い河川水路の実現」	基本目標1「災害に強いまちの実現」の方に分類される内容ではないかという印象を受けました。もしこの内容を基本目標3に位置付けるのであれば、「安心・安全な河川水路」など、より日常的・予防的な意味合いが伝わる表現に見直した方がよいのではないかと感じました。	基本目標1からの分離を図るため、「災害から市民を守る河川水路の実現」に変更します。都市基盤分野としては、施設の維持や修繕、整備により災害を未然に防ぐ予防的観点が強いことから、「市民を守る」の表現としました。
39	P44 (都市整備課)	山田	基本目標3－政策3－施策1及び施策2について	基本目標3－政策3の施策①②は、いずれも防災を対象としたものであり、基本目標3というより基本目標1に含めるべきではないだろうか。	基本目標1については、防災全般の目標です。更に政策(1)は市民の防災意識の向上などのソフト対策です。都市基盤分野ではハード面からの施策を掲げ、インフラを通して災害を防いでいくことを政策・施策としました。
40	P49 (健康づくり課)	長谷川	健康福祉分野の掲載順番	政策(2)施策②健康づくりの推進をトップにしなくて良いか？	ご指摘のとおり修正いたします。
41	P49 (こども未来課)	第5回 審議会	基本目標4(1)「すべてのこども・若者が輝き、みんなの笑顔があふれるまちの実現」	やや文章が長く感じられました。特に、「すべての」や「みんなの」といった表現は、なくても趣旨は十分伝わるのではないかと考えています。	令和5年に閣議決定された「こども大綱」が目指す「こどもまんなか社会」では「全てのこども・若者」が保護者や社会に支えられて成長する社会とされています。また、誰ひとり取り残さない(SDGS)という意味を含め、本年3月に策定しました「御前崎市こども計画」におきましても同様の表現をさせていただいております。
42	P50 (こども未来課)	渡辺	政策1 成果と課題	(これまでの取り組み)1行目 園再編成の文末が気になりました。「移行することができた。」は、子どもの幸せを願う立場からすると、喜ばしいことではないと思います。移行したことを喜んでいるかのように受け取ってしまいます。「移行した」で結んで欲しいと思います。	園再編が子どもたちの最善の利益にかなうものであってほしいと願うことから、「移行することができた」という表現は子どもたちや保護者の想いや不安葛藤などに対する配慮が足らなかったと感じます。「移行した」と事実のみを述べる形で結んでいきます。
43	P50,51,73 (こども未来課)	青山	健康福祉分野 教育分野	長期間期間中の放課後児童クラブにおける食事提供について、ご検討されてはいかがですか？こども家庭庁では食事提供を推奨し、全国でも約23%の公設クラブで何かしらの提供があり、全国的に広がりつつあります。保護者アンケートでは、放課後児童クラブで改善してほしいこと第1位が昼食の提供であり、保護者の弁当作りの負担を減らすため、弁当による食中毒防止の観点からも、食事提供についてご検討されてはいかがですか？おかずだけの提供や、食育の一環として子どもと一緒に作っている市町村もあるようです。健康福祉分野の(1)－①－3)、(1)－②－1)、(1)－②－2)、(1)－③－1)の施策の方向性にも一致しており、合わせてご検討頂ければと思います。	放課後児童クラブでの食事提供は、共働き世帯等にとって重要な支援手段であり、今後検討の必要はあると思います。しかし、給食センターを利用する場合、食事提供にかかる人員確保やまとまった利用者数が必要になります。また、弁当事業者を利用する場合、保護者の料金負担や注文数の管理、料金の徴収などの業務負担も生じます。特に長期休暇中は利用日の急な変更等もあり、キャンセルへの対応など、様々な問題をクリアする必要があります。

44	P50,51 (こども未来課)	青山	健康福祉分野 (1)	今後の課題として、ファミリーサポート事業について記載がありますが、この課題に対する今後の取組みの記載がありません。施策①か②に加えてはどうでしょうか？	ファミリーサポート事業については、施策②の1)の子育て支援の充実に含んでいます。他の預かり事業(緊急一時、預かり、誰でも通園制度)と併せて、全体的に充実させてまいります。
45	P51 (こども未来課)	長谷川	目標指標の検討が必要	③待機児童数 現状0人 目標0人 目標指標として不要では	子どもが減少傾向にあったとしても、地域ごとの偏りや保育士の確保状況によっては、待機児童が発生する可能性はゼロではありません。目標ゼロを掲げ続けることが、常に子育て家庭に寄り添い、迅速に対応できる体制を維持するために必要だと考えています。
46	P53 (健康づくり課)	長谷川	目標指標の検討が必要	施策②健康づくりの推進に対する指標が必要ではないか？	子どもの予防接種接種率を削除し、 ①がん検診の受診率 ②健康マイレージ達成者数 ③特定保健指導対象者の減少率を追加する。
47	P58 (市立総合病院)	河原崎	政策(5)信頼される医療体制があるまち	中東遠病院との連携が記載されていないが、中核病院との関係性(連携)をどのようにする方向性なのかを記載していただきたい	中東遠病院を含めた近隣病院との関係性の構築や連携は必要なことと考えています。しかし、具体的な病院名を計画に記載することは、現段階では時期尚早と考えておりますので、記載についてはこのままと考えております。
48	P58,59 (市立総合病院)	青山	健康福祉分野 (5)－②－1)	看護師奨学金利用者の目標値の記載がありますが、看護師のみですか？医師や他の医療従事者の奨学金利用者を含みますか？読み手が分かりやすいように記載してください。	奨学金支給対象は、記載どおり看護師を対象とした利用者数となります。医師、薬剤師を対象とした奨学金もありますが、看護師確保に特化した目標設定としていますので文言変更は予定しておりません。
49	P63 (商工観光課)	第5回 審議会	施策②受入体制の構築と充実	「観光協会体制の見直し等」と記載があります。 この部分について、今後どのような見直しや方向性を想定されているのか？	将来的には、観光協会の自立運営体制を目指すため、一般社団法人等の形態を検討し、経営体制の伴走支援を目指したい。また、当市ならではの観光商品開発や、クラウドファンディング等による収益事業の創出について観光協会とともに検討したい。
50	P63 (商工観光課)	大澤富	基本目標5 政策(1) 施策2の観光協会等の体制見直し	この件も非常に重要だと考えますが、どのような方向への体制見直しなのか、またこれも地域商社機能につながる考えなのか教えて下さい。	地域資源を活かした体験・滞在型観光の推進が必要です。このため、地域住民・事業者・行政が一体となった体制の構築が求められます。
51	P63 (商工観光課)	長谷川	未記載	④なぶら市場の来場者数	現状 476,409人/年 目標 480,000人/年
52	P64 (農林水産課)	山下	政策(2)持続可能な農林水産業があるまちの実現	この政策の中にJAが出ていないのはなぜか？ JAも同じ目的の事柄があるのでは？	JAという言葉を使っていないことに特に理由はありません。農林水産業の振興は、各農業協同組合や漁業協同組合、土地改良区などの民間団体、国、県などの関係機関と連携することが重要、不可欠であり、それを前提として本計画を作成しています。なお、施策については、市が直接関わるものを記載しています。
53	P65 (農林水産課)	長谷川	目標指標の検討が必要	水産業の担い手確保に対する指標が必要では？	水産業の担い手については、新たに指標を設けることを検討します。
54	P64,65 (農林水産課)	長谷川	基本目標5 政策持続可能な農林水産業があるまちの実現	経済産業分野の中で「水産業」に対する施策が弱いと感じる	本計画について、現時点で記載している現状や課題、施策について見直しましたが、「まちづくりの指標」について水産業の分野の記載がなく、この点は弱いと思います。このため、指標を追加する方向で検討します。

55	P67 (商工観光課)	山田	基本目標5－政策3－施策2及び政策3について	御前崎港の位置づけは果たしてこれでよいのか。もちろん、スズキの軽自動車を中心とする物流は大事で、その機能向上は不可欠ではあるものの、シンプルに物流機能向上を唱えるだけでは難しい気もする。むしろ港湾局の関心が災害対応やカーボンニュートラルに及んでいる状況では、そちらへの目配せをもう少し打ち出しても良いのではないだろうか。	港の整備・補修については、費用規模が大きく、予算の確保から整備完了までに長期間を要するものです。 御前崎港は静岡県管理であるため、御前崎港整備促進期成同盟会として、港の整備、老朽化施設の対策、港湾計画改訂の検討、賑わい創出への支援、ブルーインフラの拡大と五つの項目を静岡県や国に対し要望していくことが重要と考えています。 御前崎港BCPや御前崎港脱炭素化計画に基づく政策を今後の港湾計画改定に反映されることとなると想定しています。港湾計画改訂後に御前崎市として取り組む内容を打ち出していくことが良いと考えます。
56	P67 (商工観光課)	河原崎	政策(3)活力ある商工業のまちの実現	施策③に御前崎港の整備促進と物流機能の強化とあるが、整備促進は現状維持程度で充分。 それより利活用に注力すべきと考えます。第2次総合計画の踏襲ではなく、県営港であるため県への積極関与を促したり、荷主企業や船社へのPRなどをどのように行うかを記載すべきと思います。御前崎港に稼いでもらう方向性、具体策を。	ご指摘のとおり、要望活動は引き続き実施していくこととしています。 利活用に関しては、御前崎港までのアクセスや御前崎港の設備などを知らない企業が多く、御前崎港を知っていただくことが重要と考えています。 御前崎港の利用拡大に向けて、静岡県や牧之原市及び船舶代理店企業などと連携したPRを実施していきます。
57	P7,67 (商工観光課)	長谷川	目標指標の検討が必要	「御前崎市の産業活動に活力(元気)があると思う人の割合」について、もっと客観的なものを	主観指標と客観指標の組み合わせが理想なため、主観、市民や事業者の「活力ある」という実感と、客観、雇用・創業・観光客数などの統計値の両方を併せた二軸で整理した見える化を検討していきます。
58	P72 (学校教育課)	渡辺	基本目標6－政策2－施策1	主な取り組みの中に入れて欲しいこと 「公立園だけでなく民間園も御前崎の子どもを育てるために連携をする」 言葉は検討して欲しいですが、市内の乳幼児教育の基礎を大切にして欲しいと思います。	御前崎市では、第2次総合教育計画を遂行しているときから、公立園のみならず民間園とも連携を図りながら幼児教育を推進してまいりました。第3次総合計画においても、「生きていく力」を育成するために、民間園とも連携をより深めてまいります。
59	P72 (学校教育課)	河原崎	政策(2)途切れのない教育で子どもの育成を推進するまちの実現	市長の政策(おっしゃっている)外国でも通じる(活躍)人材を育成する、という事が薄い気がします。ALTを配置します、だけでは物足りなく感じます。もっと厚くできないでしょうか。	本市では、引き続きALTを各校に配置し、英語に親しみながらコミュニケーション能力を育んでいきます。また、今後、御前崎市が英語圏の都市と姉妹都市連携を提携することになれば、現地の学校とオンラインで交流を深めるなど、より実践的な英語活動を充実させてまいります。
60	P69,74 (社会教育課)	長谷川	相違	P69_政策(3)自らの選択で何度でもチャレンジできる学びの環境があるまちの実現、P74_政策(3)自らの選択で何度でもチャレンジできるまちの実現 となっている。	転記誤りです。正しくは、P69「自らの選択で何度でもチャレンジできる学びの環境があるまちの実現」になります。
61	P75 (社会教育課)	長谷川	目標指標の検討が必要	②生涯学習講座参加者の満足度 現状97% 目標100% これでは意味がない。参加者数を増やすようにしては	現在の指標は、市民講座の参加者からアンケート結果を反映しており、常に90%以上の満足度をいただいております。現時点で、ほぼ目標を達しているため、削除をさせていただきます。しかし、委員がおっしゃった「参加者数を増やす」という指標については、講座数や募集参加者数が年度によって異なるため、指標には適さないかと考えております。その代わり、指標③「学問・学習、スポーツ、文化・芸術などにおいて、自己を磨く努力を実施している市民の割合」が全体の指標となると考えております。
62	P75 (図書館)	山田	基本目標6－政策3－施策2について	「旧来型図書館で行く」のも一案ではあるものの、今風の課題解決型や多機能型の館を少しは考慮に入れても良いのではないだろうか。	本計画では従来の図書館型で考えておりますが、今後の社会情勢に応じて課題解決型や多機能型を検討します。
63	P80 (総務課)	山田	基本目標7－政策1－施策1について	チャレンジできる行政組織を目指すためには、若手職員の採用強化や職務満足度の向上が不可欠である。研修も大事であるものの、処遇ももちろん大事である。たとえば、休暇の取りやすさや週休三日制の利用は検討の余地がある。	ご指摘のとおり、チャレンジできる行政組織を目指すためには、職員採用の強化、職員の満足度向上は不可欠です。 職員が最大限の能力を発揮できるように、採用、育成、配置、人事評価、モチベーション管理など、人材に関するあらゆる活動をマネジメントすることを目指し、処遇も含めて「3)適正な人事管理を行います。」と記載しております。

64	P81 (総務課)	山田	基本目標7－政策1－施策2について	広報誌が評価されたことを記事で目にした(おめでとうございます)。この点はいっと誇りにしても良いはずだし、なんならゲストスピーカーとして授業で「広報から見た御前崎の魅力」のような話をしていただきたい気さえる。	ご提案ありがとうございます。広報誌もシティプロモーションの取り組みの一環として、市の魅力を発信する重要なツールであります。引き続き、市内外に対して情報発信をしてまいります。
65	P81 (企画政策課)	山田	基本目標7－政策1－施策4について	一度離れてしまった若者を地域へ戻すことはそう簡単ではない。離さないための策を講じて良いかもしれない。たとえば、市内ではたらくこと(市職員を含む)を条件とする通学補助などは検討の余地がある。	施策4移住・定住化の推進だけではなく、他の施策と連携した施策を考えています。(リターン就職応援(利子補給制度))